

(様式第6号 別紙)

長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

1. 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構

2. 事業者情報

名称: キッズスクール保育園	種別: 認可保育所
代表者氏名: 藤原 浩	定員(利用人数): 60 名
所在地: 〒854-0061 諫早市宇都町 18番29号 Tel 0957-21-3122 Fax 0957-47-6017	

3. 総評

◇特に評価の高い点

①理念、保育方針に沿った幼児教育が実践されている。

五本柱に掲げた・右脳レッスン・英語遊び・小学校対策・本物と触れ合う体験学習、基本的な生活習慣の定着に力を注ぎ、0歳児からの外国人講師を招いての英語教育、かまぼこ工場見学、佐世保駐留米軍基地内保育園との交流、七田式、ヨコミネ式保育で自ら学ぼうとする力の育成や3歳児4歳児5歳児へサッカーを通じ園児が自分で考え行動し反省する力を育てる事等、数々の取組を通じ小学校へのスムーズな移行を意識した保育の実践が行われている。

②地域の福祉ニーズ把握の取組が行われている。

園長は地域自治会の役員で、地元ライオンズクラブの会員でもあり積極的な情報収集の取組が行われている。又、送迎時及び連絡帳、三者面談等の機会を通じ把握したニーズは朝礼や定期の職員会議で共有化を図り解決策を実践されている。昨年近隣商店街の中に学童保育も開設され地域のニーズ把握及び小学校と関係した保護者支援も行われている。

③保育士の働きやすい環境整備と意識改革の取組が行われている。

園長主導で保育士の待遇改善実現に向けた有給休暇取得奨励及び夜間勤務整理簿作成に基づくサービス超過勤務の根絶、公平な人事評価の実践等に積極的に取組まれている。又、幼児教育に力を入れており保育士には小学校教諭と同等の能力を身に付ける様伝えるなど意識改革への取組も行われている。

◇改善を求められる点

①中長期計画の策定

園長は中長期計画の必要性について理解されており園増改築を含めた施設整備、認定こども園への移行、学童保育の認可取得等具現化に向けた取組が行われている。付帯して必要な人員の配置についても具体策を検討中である。今後中長期計画の実現に向け文書等による明確化の取組に期待したい。

②組織的取組

園独自の各種マニュアル作成による保育の質向上、透明性確保等前向きな取組が行われているが現時点では組織として機能するには時間を要すると思われる。又、各種の会議録も園長、主任保育士、保育士夫々独自に記録は為されており記録の必要性は認識されているものの今後記録の一元化等組織としての取組に期待したい。

③園長の一点集中権限の状況脱皮

七田式、ヨコミネ式保育の実践、第三者評価受審、認定こども園開設計画等園長の先進的取組は就任3年目を迎え現実化しつつある。今後、各職位に則した権限移譲を図りリスク分散の取組に期待したい。

4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント(事業所記入欄)

今回の評価を受け、細部にわたるご指摘を頂き感謝しております。

当園にとりまして、非常によかったと感じました。

法人の第三者評価受審の必須化もさることながら、今後自ら積極的、定期的に受審していこうと考えております。

指摘頂いた項目は、一つ一つ精査し改善して参りますので 更なるご指導ご教示方よろしくお願い申し上げます。

5. 各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

6. 利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（共通）

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	評価者コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a	理念「子供の最善の利益を第一に考え、保護者からも信頼され、地域に愛される」を掲げ目指すべき姿を明文化すると共にパンフレットに記載している。
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	理念に沿った保育方針として「子供の主体性、特性に応じた指導、幼児教育」の3項目を掲げている。特に幼児教育には重点的に取り組まれている。
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	b	朝礼時、職員会議時、個人面談時等随時パンフレット等を活用し管理者からの説明は行われているが会議録等記録はなく口頭での確認となった。今後は記録を残しておくことが望ましい。
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	保護者へは担当、主任、園長が共同作成したスクール便りを通じた周知活動が行われている。地域住民等へは園長が地区町内の評議員をされており役員会、老人会等の機会を通じ周知されている。

I-2 計画の策定

	第三者評価結果	評価者コメント
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	b	ハード面での中長期的計画は構想として策定されているが仮設計までの段階で行政との関係もあり具体化には至っていない。運営に関しては他園との差別化を図りヨコミネ式保育を4月から取入れ幼児教育に力を入れた取組が行われている。今後前年実績の振り返り等を行っての問題点、課題点を捉えた中長期の計画策定に期待したい。
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b	25年4月開設の学童保育につき来年度認可を目標に掲げられている。年2回程度諫早市子供支援課の判断を仰ぎながら事業に取り組まれている。中長期計画と合わせ年度ごとの事業計画策定の取組を期待したい。
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	c	年間の行事計画は全員で話し合い策定されているが事業全体としての計画作成には至っていない。毎月開催の自主研修会等で園長よりヨコミネ式教育法取入れの考え方、認定こども園についての説明等は随時行われている。
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	b	月一回開催の職員会議や色々な機会を捉え話し合いは行われているが記録での確認は出来なかった。会議録整備に期待したい。
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	b	行事計画としては園便り等保護者に配布する書類を基に説明しているが事業計画については今後の取組に期待したい。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	評価者コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a	26年度職務分担表を作成配布し役割分担を明確化している。又、安全管理マニュアルの中で災害時等の連絡体制、役割も明示されている。朝礼時等で保育士への周知も行われており、欠席者へは出席した保育士が役割及び手順を説明し周知を図っているが記録はない。記録を残しておくことが望ましい。
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	c	園長はトップセミナーや福祉施設研修会出席等により情報収集を行い朝礼時等で報告しているが個人情報取り扱いなど周知の具体的な取組は今後に期待したい。

I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	b	園長は毎月一度開催の保育士会議で話すと共に気付きの時点で随時指導している。記録はなく口頭確認となった。尚、園長と保育士間で指導に対する役割認識の考え方に若干の相違点が見られますので再確認を要望する。
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b	定期的な職団交渉の場等にて問題点について話し合いサービス超過勤務の根絶や年次休暇取得の奨励など環境整備を行っている。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果	評価者コメント
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	c	市議会、教育福祉委員会、市保育会等に出席し世帯数、待機児童数等地域動向の把握を行っているが中長期計画への反映は認可保育園として難しい面がある。
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	c	認定こども園を目指しハード面では増改築の必要性も含め関係者と協議の段階である。
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	c	税理士によるアドバイスや必要に応じ弁護士、行政書士と必要に応じ相談は行われているが記録はない。外部監査は実施されていない。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果	評価者コメント
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	c	幼児教育に特化した保育サービス、サッカー教室、英語教室等具体的方針は確立しているが適材適所の人員確保等について文書化等の明示はされていない。今後の取組に期待したい。
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a	諫早市民間保育士処遇改善特例による勤務評価表に基づき園独自の評価表を作成し、管理者と個別面談を行い双方で協議の上で人事考課を行っている。
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	園長は年次有給休暇消化、サービス残業の廃止等積極的に改善に取り組まれている。0歳児の年度切り替え時対応で保育士人数調整の事態も考えられる為、職員意向も視野に入れた職員確保が行われている。
Ⅱ-2-(2)-② 職員の福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	c	毎月最終金曜日開催の自主研修会を通じ保育士のコミュニケーションが図られている。福祉医療機構の退職金制度に加入もされているが、今後は職員の悩み相談窓口設置等の組織的な福利厚生事業の取組に期待したい。
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	c	保育士としてあるべき姿について、朝礼時などを通じ随時園長を中心に話し合い・自己研修も行われているが、組織としての基本姿勢について明文化されていない。
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	b	主任保育士を中心として保育を通じたOJTが行われると共に1年目、3年目研修等の機会を通じ指導育成が行われている。都度研修報告も行われ情報共有すると共に実践に活かされているが会議録がなく口頭による確認となった。今後記録を残していくことが望ましい。
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	c	年間を通じた計画的研修計画が策定されていない。今後は保育士個々の能力アップに向けた園全体として、目指すべき保育に向けた研修計画と評価見直しが必要と思われるので今後の取組に期待したい。
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	受入に対する基本的考え方を管理者は口頭で説明しているがマニュアル等は未整備である。実習生受入に当っては主任保育士が役割分担を決定し、指導者に対する研修を行っている。実習プログラムも作成されており、養成校側とも連携した取組が行われている。

II-3 安全管理

	第三者評価結果	評価者コメント
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	b	園内での子供の怪我等緊急時の場合は適切な対応を行い原因究明の上、担当保育士は管理者同行により保護者宅へ訪問し説明を行っている。毎月の避難訓練、不審者対策、AED操作研修も毎年実施している。安全管理マニュアルを作成し危機管理、衛生管理、園児の健康管理体制は整備されている。
II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	b	地震を想定した災害訓練を本年3月に実施し非常時の連絡網として近隣へ園の電話番号を通知している。地区自治会と災害時の園庭使用、AED使用他申し合わせ事項を締結し協力体制を整備している。
II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b	園長自ら事故防止のためのチェックリストを作成し園内外の危険個所の把握、不審者、不審車両のチェックを毎週実施し記録している。

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結果	評価者コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかわりを大切にしている。	c	地域交流の一環として夏祭り、老人会が行っている道路脇花壇の植え替え作業等の行事に園児とともに参加し交流を図っている。しかし、記録がなく書面での確認は出来なかった。
II-4-(1)-② 施設（事業所）が有する機能を地域に還元している。	b	本年4月に保育園を緊急避難場所として使用、保有するAED使用、備品の貸与に関する申合せ事項を町内自治会と締結されるなど前向きな取組が行われている。
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	ボランティア受入は現在のところ実績はない。各種ボランティア団体の情報収集及びマニュアル整備も含め今後前向きな取組を検討中である。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	c	万が一の場合の関係機関一覧として警察、消防、病院、行政機関の一覧は作成されているが、必要な社会資源として保育士、保護者への情報提供は行われていない。今後の改善策の提案に期待したい。
II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	c	各場面に応じ医療機関、小学校、児童相談所等との連携は行われている。又、虐待が疑われる場合には保健所とも相談し取組まれているが、定期的な連絡体制は未整備であり今後検討をお願いしたい。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	c	現在、園長は情報収集も兼ね地元のライオンズクラブに加入されている。近隣商店街内に学童保育も運営されておりニーズの把握に努めている。今後はニーズ把握のため関係機関等との定期的な会議開催等を通じた積極的且つ具体的取組に期待したい。
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	c	延長保育の要望による20時までの延長保育が行われている。その中で19時までの一時間については追加料金を無料とし、保護者の経済的負担の軽減に努められている。今後は把握したニーズに基づく具体的事業を明確にし、事業計画等に組み入れる取組に期待したい。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	評価者コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a	子供の人権擁護について理念に掲げホームページや園便りにて表明し、配慮すると共に朝礼時等で保育士へも周知している。月案、週案、日案の中で子供主体で遊びを通じ自発的に学んでいく雰囲気がある。外国人講師による英語教室や米軍基地内の施設訪問等異文化との交流も行われている。
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	c	保育士との契約書に個人情報保護の取り決めは有るが全体としてのマニュアル等、今後の検討課題であり早急な整備に期待したい。
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a	本年2月に保護者アンケートを実施し意向の把握に努め結果は集計し課題については職員へ回覧し改善策を検討されている。
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。		
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b	送迎時等あらゆる機会を通じ保護者へ来園の呼びかけを行っている。又、三者面談相談表を作成し面談の機会も設けると共に契約書に沿って第三者相談窓口の説明も行われている。
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	c	苦情解決については園便りに記載すると共に第三者委員も設置し、解決を図ると共に保護者に説明している。が、掲示物などでの周知は行われていない。意見箱の設置はあるが今後苦情が言いやすい方法等の取組に期待したい。
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b	苦情受付担当者、責任者は配置され苦情受付簿も作成し随時報告も行われているが、一連の手順を具体化したマニュアル等の整備が必要と思われる。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果	評価者コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	c	この度、初回の第三者評価の受審は、職員の話し合いで評価を実施されている。園長・主任等と職員会議や面談をしているが、園全体の組織的な体制の評価に繋がっていない。
Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	c	保育サービスの質の向上にむけて、改善実施計画を策定・実行し、その後、実施状況を職員参加により組織的な評価の取組を行っている。評価結果の分析により、改善課題の発見に繋げ見直しや継続等取組のサイクルで共有化した実践と文書化を期待したい。
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	b	当園の保育理念や基本方針及び保育過程に基づき、園独自のヨコミネ式保育・七田式教育・本物に触れ合う体験学習・右脳レッスン等を入園しおりに明示して実践している。
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	基本的な生活習慣の確立を目指し、年齢別タイムスケジュールや評価ツールを定め、職員は共通の認識を持って実践している。今後実施方法の組織的な見直しの取組を期待したい。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	保育サービスは、担当職員が子ども一人ひとりの状況を個人記録に5領域を加味して記入している。経過の個別内容を「その月の様子」として保護者に報告している。職員への周知内容は回覧で確認するように取り組まれている。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	c	記録の管理は、園長・主任の責任のもと管理規定文書に保存期間を明示している。職員と「誓約書」により、個人情報保護の遵守に努めている。今後、個人情報保護マニュアルの作成及び情報開示の観点から職員研修を期待したい。
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	b	子どもや保護者の情報は、朝礼での申し送りや月1回の職員会議・回覧等で共有及び周知している。今後さらに、組織的に情報の仕分けと的確な周知の整備を期待したい。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果	評価者コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b	入園児限定のフェイスブックにて、保護者の返信を得られている。保育の理念や保育内容の情報は、入園のしおり及び毎月の園便りによって分かり易く提供している。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	b	入園説明会及び保護者との面談やその後の懇談会等において、理解して頂けるような説明に努められている。今後、見学及び保護者への説明後の同意の文書化を期待したい。
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	c	子どもの情報内容をまとめ学校への提出文書を保護者に送付した事例はあるが、プライバシーに配慮して電話での問い合わせに答えた経緯の他は連携に至っていない。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果	評価者コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b	入園説明会の折、児童の記録・子どもの生活状況調査書を配布して、記入後の確認と入園後の観察経過を発達検査表により、6領域によるチェックと評価に取り組まれている。
Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。		
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	b	職員の役割分担のもと指導計画が作成されている。子ども一人ひとりに対する保育内容と保護者の意向を配慮して、子どもの発達の視点に沿った援助に日々取り組まれている。
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b	子どもの活動内容や心の育ち、意欲、取り組む過程等毎月評価して、連絡ノートに明示のうえ保護者に報告している。発達ツール等も参考に次の計画を作成している。

評価細目の第三者評価結果（保育所）

A-1 保育所保育の基本

	第三者評価結果	評価者コメント
1-(1) 養護と教育の一体的展開		
1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	b	保育過程は、保育所保育指針及び幼稚園教育要領をもとに当園の保育理念・保育方針に沿って、基本的生活習慣・英会話・小学校対策（ヨコミネ式保育・七田式教育）・右脳レッスン・本物と触れ合う体験学習の5本柱を位置付けて指導されている。
1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b	入園時に、離乳食・授乳状況・健康状態等詳細な調査を行い、保護者の相談に応じる等家庭との連携を大切にしている。送迎時の連絡内容の伝達や連絡帳によって、園児一人ひとりの個人記録をもとに毎月「その月の様子」を報告している。保育内容は、遊びからの学びや設定保育（ベビーマッサージ）等を取入れて身体的発達を促す関わりを目指している。担当保育士は、暑さ寒さを感じ取る必要性を考慮して、室温・湿度の調節のもと環境を整えている。
1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b	送迎時、子どもの様子を把握して保護者と連携を図りながら、園独自のディリープログラム・タイムスケジュールにそって「遊びからの学び」の他、設定保育（リトミック・ヨコミネ式及び七田式教育・散歩・ベビーマッサージ）等を取り組んでいる。又、基本的生活習慣の自立を促して自分で食事をする、服を着る、排泄の意思を知らせる等自分の意思で行動できるように育てている。
1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b	子どもの留意点を把握して、保護者と連携を図りながら、園独自のディリープログラム・タイムスケジュールにそって「遊びからの学び」の他、設定保育（英語遊び・サッカー・スイミング、ヨコミネ式教育）等を取組んでいる。又、基本的生活習慣の定着に向けて一人ひとりに応じて育くみ国際交流や地域の事業所訪問での交流も実践して、豊かな感性と知的教育に力を注いでいる。
1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。	b	いさはや市幼・保・小連携連絡会等に出席後、当園において新入学児童保護者会説明会を開催して、就学に向けての知的教育の取組や遊びの中での学びの経過を説明して理解と協力を得ている。園長・主任・保育士の組織的な就学を見通した指導として、鉛筆の持ち方・はしの正しい使い方（矯正ゆびくす使用）等に配慮している。
1-(2) 環境を通して行う保育		
1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	b	当園の手狭さはあるが、職員及びクラス構成は各年齢に応じた人員配置により、協力関係を構築している。保育士、栄養士、看護師、調理師、用務員配置して子どもの不安な状況に対応できる様に考慮している。採光や換気、保育室室温、トイレの清潔保持等環境保健に留意している。手洗いの場等子どもが利用しやすい設備とシャワー室も整えている。安全に配慮した環境設備の改修や寝具の清潔保持の工夫を期待したい。
1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a	園の狭さはあるが、各保育室・調理室・トイレ・シャワー室を整えて食事、排泄、睡眠、着脱、清潔等基本的な生活習慣の確立に配慮している。子ども一人ひとりの状態に応じた活動と休息の場を整えて、心のバランスが保てる様に援助を工夫して育てている。園庭の遊具は少ないが、小学校就学に備えての遊具を整えて子どもが工夫して遊ぶことを大切に伝承遊び等を考慮している。

1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協動的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	b	当園は知識教育（英会話・ヨコミネ式保育・七田式教育・右脳レッスン）に取組、保育室に時計を設置して時間への認識を重要視している。保育設定を一週間のプログラムに取り決めて、時間設定のもと一日のスケジュールを決めている。遊びの中の学びや本物と触れ合う体験学習の中で順番を守り、挨拶や社会的ルールを学び園生活において当番や共同的な活動へと繋がっている。
1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	b	当園の近隣に運動公園があり、一週間のプログラムにサッカーの練習や散歩を取組んでいる。又、本物に触れ合う体験学習を実施して、農業交流体験学習、国際交流（佐世保米軍基地内訪問）、芋苗植え、梨狩り、他に子どもが身近に動植物に触れる機会（諫早干拓の里）も数回実施している。
1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a	ディリープログラム及びタイムスケジュールの設定保育に表現遊び、ヨコミネ式保育、七田式教育の中で読み書き、計算、暗唱等取組んでいる。夏祭りに外部よりトランペット、ホルン等の楽器演奏で楽器に触れる機会も実施している。誕生会でパネルシアターや午睡時の絵本の読み聞かせ等も取組んでいる。
1-(3) 職員の資質向上		
1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	b	園長・主任保育士は、職員と面談をして自らの保育実践の振り返りの機会を設けている。今後更に、自己評価が職員相互の保育に対する意欲と意識向上に繋がるような取組を期待したい。

A-2 子どもの生活と発達

	第三者評価結果	評価者コメント
2-(1) 生活と発達の連続性		
2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a	子どもの生活状況調査や家庭の様子を入園児一人ひとりの書類で把握すると共に、身体的成長の差や保育経過の状況を発達評価ツールで評価して、支援すべき留意点を明確に追及している。子どもの質問や要求に対して気持ちを受け止め、抱いたり言葉かけに配慮している。
2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b	主任保育士は、特別支援コーディネーターの研修受講により認定証を保持している。障害のある子供の保育を保護者との連携と医師や他の機関との連携も図りながら、視覚的教材を活用して発達支援に努めている。
2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b	入園時の説明及び入園のしおりへの明示で18:00～19:00は無料、子どものストレス軽減や家庭保育の重要性を示してある。20:00までは料金が必要となるが、現在までに利用者はない。
2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	b	児童の記録の既往症や予防接種の追記は、保護者から情報を得て年1回取組んでいる。進級時等担任が交代した折には、連絡ノート等で引継ぎ内容を報告している。安全管理マニュアルを作成し年1回見直している。今後マニュアル等についての研修の実施で職員への周知活動を期待したい。
2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	食に関する経験ができるように保育に位置付けて、食育の年間指導計画により、3か月に1回食育を実施している。食事中は音楽を聞きながら落ち着いて食事ができるように工夫している。時には、ベランダでの食事をすることもある。子ども達が給食当番としての係りを交替で行い、食事の準備や片づけを楽しんで取組むように支援している。

2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	b	児童の記録で好き嫌いを把握して、子供が食べれる量で完食を目指して、残さずに食べた事を大切に育てている。検食簿・検食者ローテーション表により、連絡を密にして一年に1回の見直しと給食委員会の会議において話し合いの内容を反映している。今後、発育状況や体調を考慮した調理の工夫と記録の作成を期待したい。
2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果や子どもの発育発達状況について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	b	年間の予定にそって、身体測定は毎月実施して連絡帳に記入している。内科検診は6・9月に実施し、又、歯科検診は6月に実施して保護者に報告している。今後、健康診断・歯科検診の結果を、保健計画の作成と保育への反映に期待したい。
2-(3) 健康及び安全の実施体制		
2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	アトピー性皮膚炎・食物アレルギーの子どもに対して、主治医の診断書により、誤食事故対応マニュアルにそって保護者に「食物アレルギー除去申請書」の提出を依頼している。食物アレルギーの除去に至るまでの経過を記録している。
2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	b	園長は、給食運営要領を作成して、事故（食中毒）時対応マニュアルのもと保護者への報告書を作成している。他に、ねずみ・昆虫等害虫駆除記録表（毎月点検・年に2回以上の駆除）食事提供に係る職員の衛生管理点検表（毎日点検）加熱食品の中心温度測定記録表・冷凍冷蔵庫、調理室の温度、湿度の記録表を整え実行している。

A-3 保護者に対する支援

	第三者評価結果	評価者コメント
3-(1) 家庭との緊密な連携		
3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	b	献立表を毎月配布して「食と子どもの発達の5つの観点」により、給食委員会や食育の実施に繋がっている。毎月配布の給食便りや栄養士の「豆知識」の掲載や献立のサンプルをフェイスブックに掲示して、保護者との連携に繋がっている。又、保育参観時に給食の試食を提供したり、食材の購入や食器も子どもへの安全性を配慮している。今後、家庭での食事状況の把握に期待したい。
3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	b	園児の送迎時、朝は早出の保育士、帰りは担任保育士が対応して伝達内容の共有を重要視している。保護者との連携と信頼関係の向上に努めて、子どもの様子を連絡帳で報告している。保護者の個別の相談や留意点の内容の記録を期待したい。
3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	b	年間行事計画や保育設定の一週間のプログラムに保護者総会やベビーマッサージを予定して、実践指導している。主任保育士は1歳6か月・3歳児検診後、三者面談を実施して、問診内容の共有に努めている。保護者との連携を更に高めて信頼の構築に期待したい。
3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	b	児童虐待としつけの違いを指摘して、園便りや保護者への啓発に努め、日常的に子どもの様子や着脱時の身体の変化に留意して、早期発見に努めている。今後、児童虐待についての対応等のマニュアルの作成と職員研修記録の整備を期待したい。

事業所プロフィール（保育所）

1. 事業所名称：キッズスクール保育園
2. 運営主体（法人名等）：社会福祉法人 愛善会
3. 事業所所在地：〒854-0061 諫早市宇都町 18 番 29 号
4. 事業所の長の氏名（園長等）：藤原 浩
5. 連絡先
電話： 0957-21-3122
Fax： 0957-47-6017
eメール： kidsschool@beach.ocn.ne.jp
ホームページ： <http://www6.ocn.ne.jp/~kids-s/>
6. 当該事業の開始年月日
平成 24 年 4 月 1 日
7. 同一事業所（同一敷地内または同一建物内で行われる事業を指す）で実施している同一運営主体の主な福祉サービス事業

なし

8. 事業所が大切にしている考え方(事業所の理念や基本方針等を簡潔にお書きください。リーフレット等の資料を添付していただいても結構です。)

《保育理念》

子どもの最善の利益を第一に考え、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。

《保育方針》

- ・ 子供の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする。
- ・ 遊びを通しての指導において、総合的に心身の調和のとれた幼児教育を目指す。
- ・ 子ども一人ひとりの特性に応じて、発達の課題に即した指導を行うようにする。

9. 現在の職員数（ H26年7月1日現在）：
常勤職員数 10 人、 非常勤職員数 9 人（常勤換算 25 人）

10. 定員及び現在の利用者：
(1) 一般保育

	定員 (人)	利用者数 (人)
0歳児	6	4
1歳児	8	12
2歳児	10	13
3歳児	10	14
4歳児	13	13
5歳児	13	11
計	60	67

(2) 特別保育

	定員 (人)	利用者数 (人)
延長保育	67	40
障害児保育		
病後児保育		
一時保育		
その他 ()		

11. 現在のサービス提供能力（利用状況）と利用者数

（以下のいずれかに○印をおつけください）

- ① サービスを希望しながら待っている人がかなりいる。
- ② ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない。
- ③ サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい。

12. 施設の状況

(1) 建物面積（保育園分）：

226.62 m² 利用者1人あたり 3.7 m²

(2) 園庭面積：

316.15 m² 利用者1人あたり 5.2 m²

(3) 建築（含大改築）後の経過年数：

8 年（18年4月新築移転）

(4) 保育所の設置形態

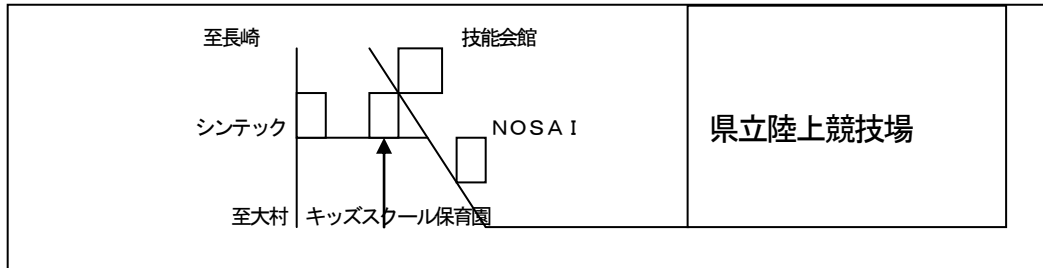
- ・ 単独設置の場合：(1 階建)
- ・ 他施設と併設の場合：
 - 併設施設種別：
 - 保育所の使用階数： 階部分

- ・ 建築（含大改築）後の経過年数：（ 8 年）
- ・ 3年以内の大改築計画の有無：（ 有 ） ・ 無 ）

(5) 立地条件など

① 交通の便： 諫早 駅から 徒歩 バス、その他()で 5 分
 バス停 _____ から 徒歩 _____ 分

② 近隣の環境（周辺道路の状況、近隣の施設や建物、公園までの距離など）



13. 苦情解決の体制について

(1) 第三者委員設置の有無

設置している (委員数 2 人) ・ 設置していない

(2) 第三者委員の活動状況（定期的な訪問を依頼しているような場合その訪問頻度等）：

特になし

(3) その他苦情解決に向けての取組み（意見箱の設置、オンブズマンの導入等）についてご記入ください

- ・ ご意見箱の設置
- ・ 担当者同行の上、保護者自宅に赴く
- ・ 臨時職員会を開催し、問題解決に向け「同一認識 同行動」改善を図る

14. 各種マニュアルの整備

- (1) 基本業務実施マニュアル（ 整備している 整備していない ）
- (2) 感染症対応マニュアル（ 整備している 整備していない ）
- (3) 事故発生対応マニュアル（ 整備している 整備していない ）
- (4) その他のマニュアル類がありましたらご記入ください

・園児の安全管理職員役割分担・万が一の場合の避難場所・万が一の場合の関係機関への連絡等・防犯、防事故、防砂の日・苦情処理対応マニュアル・給食運営要領・事故災害マニュアル

15. 事業所の特徴

サービス面で、他の事業所と比較をして優れていると思われる点、特徴があると思われる内容を3つ以内でお書きください。

① 0才～1才児までは、イメージとして保育園らしい保育園（母親的な保育）を目指し、2才児は幼児教育の移行期とし徐々に自立した子どもとして指導。3才から5才児までを小学校を意識した幼児教育を中心に基本的な生活も併せ行っている。

② 0・1才児へのベビーマッサージ、タッチケアを週一回行っている
0才～5才児まで全員にリトミックを実施している
登園時から朝のお集まり（9：30）までを「遊びの中の学び」とし、子どもの自主性を重んじた発想の展開をサポートしている

③ 国際感覚を無意識のうちに身に付けるために、0才児から外国人講師と遊びを通じた英会話レッスンを実施している

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（施設種別）

評価機関名 ローカルネット日本評価支援機構

事業所名称	キッズスクール保育園
-------	------------

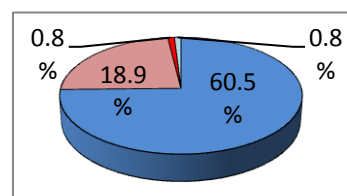
調査の対象・方法	対象：キッズスクール保育園 方法：事業所より、保護者に調査表を配布していただき、返信用封筒にて、直接当機関へ送付。
----------	--

調査実施期間	2014年7月3日～2014年9月9日
--------	---------------------

アンケート結果平均

利用者総数（人）	60
調査対象者数（人）	60
有効回答数（人）	22
回収率（%）	37

はい	386件	60.5%
どちらとも いえない	120件	18.9%
いいえ	54件	0.8%
わからない	54件	0.8%



総 評	<p>福祉サービス第三者評価を実施するにあたり、利用者へのアンケートを実施したところ、調査対象者数60人中(当該園に、兄弟等で通園している家庭に対して、1家族1アンケートとしている)22人の有効回答であった。</p> <p>有効回答数は少なかったが、全体的に「はい」の回答が多く、特に「献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか」・「登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか」という質問では86%と高く、園児の食事や健康に心を配りサービスを提供しているのが窺える。</p> <p>一方で「苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか」の「いいえ」が41%、「不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか」の「いいえ」が23%であった。今後はより一層改善に取り組まれる事に期待したい。</p>
-----	---

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	キッズスクール保育園	有効回答数	22 人
-------	------------	-------	------

評価対象	No	質問項目	回 答	回答数	(%)	
全サービス共通項目						
保育理念・保育方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	はい		19 件	86 %
			どちらともいえない		3 件	14 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		0 件	0 %
	2	【はいの場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。	はい		16 件	73 %
			どちらともいえない		4 件	18 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		0 件	0 %
	3	【はいの場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。	はい		12 件	55 %
			どちらともいえない		7 件	32 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		1 件	5 %
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	はい		19 件	86 %
			どちらともいえない		2 件	9 %
			いいえ		1 件	5 %
			わからない		0 件	0 %
プライバシーへの配慮	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	はい		13 件	59 %
			どちらともいえない		2 件	9 %
			いいえ		1 件	5 %
			わからない		6 件	27 %
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	はい		4 件	18 %
			どちらともいえない		5 件	23 %
			いいえ		8 件	36 %
			わからない		5 件	23 %
	7	困ったことを相談できる職員がいますか。	はい		17 件	77 %
			どちらともいえない		2 件	9 %
			いいえ		3 件	14 %
			わからない		0 件	0 %
苦情受け付けの方法等	8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	はい		9 件	41 %
			どちらともいえない		1 件	5 %
			いいえ		9 件	41 %
			わからない		3 件	14 %

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	キッズスクール保育園		有効回答数	22 人
不満や要望への対応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか。	はい	12 件 55 %
			どちらともいえない	5 件 23 %
			いいえ	5 件 23 %
			わからない	0 件 0 %
	10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	はい	9 件 41 %
			どちらともいえない	6 件 27 %
			いいえ	1 件 5 %
			わからない	6 件 27 %
職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか	はい	9 件 41 %
			どちらともいえない	8 件 36 %
			いいえ	0 件 0 %
			わからない	5 件 23 %
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか（職員によって言うことやすることに違いがありませんか）。	はい	12 件 55 %
			どちらともいえない	6 件 27 %
			いいえ	2 件 9 %
			わからない	2 件 9 %
地域における子育て支援	13	地域や家庭（保育所を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい	4 件 18 %
			どちらともいえない	6 件 27 %
			いいえ	3 件 14 %
			わからない	9 件 41 %
事故の発生	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい	15 件 68 %
			どちらともいえない	0 件 0 %
			いいえ	6 件 27 %
			わからない	0 件 0 %
	15	【はいの場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。	はい	11 件 50 %
			どちらともいえない	3 件 14 %
			いいえ	1 件 5 %
			わからない	0 件 0 %
利用に当たっての説明 【過去1年以内に利用開始した場合】	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい	15 件 68 %
			どちらともいえない	2 件 9 %
			いいえ	0 件 0 %
			わからない	1 件 5 %
	17	実際に利用してみても、説明どおりでしたか。	はい	12 件 55 %
			どちらともいえない	5 件 23 %
			いいえ	0 件 0 %
			わからない	1 件 5 %

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	キッズスクール保育園	有効回答数	22 人
-------	------------	-------	------

個別サービス項目				0		
食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		19 件	86 %
			どちらともいえない		1 件	5 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		1 件	5 %
施設的环境	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		10 件	45 %
			どちらともいえない		8 件	36 %
			いいえ		2 件	9 %
			わからない		1 件	5 %
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。	はい		10 件	45 %
			どちらともいえない		8 件	36 %
			いいえ		3 件	14 %
			わからない		0 件	0 %
保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会が多いですか。	はい		17 件	77 %
			どちらともいえない		4 件	18 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		1 件	5 %
	22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい		13 件	59 %
			どちらともいえない		5 件	23 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		4 件	18 %
	23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい		18 件	82 %
			どちらともいえない		2 件	9 %
			いいえ		0 件	0 %
			わからない		2 件	9 %
24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい		12 件	55 %	
		どちらともいえない		7 件	32 %	
		いいえ		2 件	9 %	
		わからない		1 件	5 %	
保護者への育児支援	25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい		15 件	68 %
			どちらともいえない		3 件	14 %
			いいえ		4 件	18 %
			わからない		0 件	0 %
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。	はい		15 件	68 %
			どちらともいえない		3 件	14 %
			いいえ		2 件	9 %
	27	保護者が参加しやすいように行事日程が組まれていますか。	はい		17 件	77 %
			どちらともいえない		5 件	23 %
いいえ				0 件	0 %	
わからない				0 件	0 %	

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	キッズスクール保育園	有効回答数	22 人
-------	------------	-------	------

健康管理	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい		19 件	86 %	
			どちらともいえない			2 件	9 %
		いいえ		1 件	5 %		
		わからない		0 件	0 %		
	29	インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい		13 件	59 %	
			どちらともいえない			5 件	23 %
			いいえ			0 件	0 %
			わからない			4 件	18 %

その他自由意見

施設的环境について「お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか」「お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか」の「はい」が45%とやや低いようです。職員やご家族の方々と意見を出し合い改善されることを期待します。